

分科会における意見を反映した調査内容の変更について
(総合調整部会 協議資料)

1 分科会意見 (生活環境影響調査関係)

- (1) 臭気調査について、VOC同様に測定回数を増やしてほしい。
- (2) 臭気調査について、焼却施設同様拡散シミュレーションを行ってほしい。

2 変更の内容

(1) 測定回数の増

生活環境影響調査の 2 調査内容を次のとおり修正する。

結果、悪臭測定回数を

- 5 か所 × 1 日 × 2 回 (数回) = 10 回 から
- 5 か所 × 1 日 × 1 回 × 4 (四季) = 20 回 とする。

施設の稼働による影響

項目		分科会意見を受けて変更する内容	提案する調査内容
現況把握	現況把握方法	修正なし。	現地調査により行う。また、既存の文献、資料により予測に資するに足りる測定結果が得られる場合はこれを用いて補完する。
	調査地点	修正なし。	敷地境界上のほか、大気質現地調査地点 (5 か所) とする。
	調査時期	四季において、それぞれ 1 週間のうち、悪臭による生活環境への影響が大きくなると考えられる日の代表できる時間帯に 1 回とする。	悪臭による生活環境への影響が大きくなると考えられる夏時期において、1 日 (時間帯を代表できる数回) とする。

(2) 臭気の拡散シミュレーション

実施しない。

<理由>

焼却施設の排ガスに係る拡散シミュレーションは、適用する拡散式が一般化されているが、放出位置が低く、かつ大気との温度差のない排出空気については、一般化されている拡散式がない。(環境アセスメント業者への聞き取り調査による。)